

（1）インターネット時代における公共放送の役割

- インターネット時代において放送を取り巻く環境
（これまで述べたような）視聴環境や事業環境の変化のほか、どのような背景事情を踏まえるべきか
- これまで公共放送が果たしてきた役割とインターネット時代において公共放送が担うべき役割
 - ・ 従来の公共放送の役割はインターネット時代においても引き続き果たされるべきか
 - ・ 環境変化に伴い、使命を終えた役割あるいは新たに求められる役割はあるか

（2）NHKのインターネット活用業務の在り方

- 放送法におけるNHKのインターネット活用業務の位置づけ
 - ・ NHKが現在進めている業務・受信料・ガバナンスの「三位一体改革」の進捗状況を確認するとともに、改革を進めていく中で、NHKのインターネット活用業務の在り方を検討していくこととしてはどうか。
 - ・ 「インターネット活用業務」について、公共放送の役割・位置付けの変化に伴って、具体的にどの業務を、制度上どのように位置付けていくべきか
- インターネット活用業務に課される規制の在り方
「インターネット活用業務」に対する規制の在り方として、公共放送の役割・位置付けの変化に伴って、どのようなものが考えられるか

（3）インターネット活用業務に関する民間放送事業者への協力の在り方

「インターネット活用業務」に関し、二元体制の一翼を担う民間放送事業者にとっても、技術的知見の共有等の観点で意義あるものであるべきという視点も踏まえ、民間放送事業者への協力の在り方について、どのように考えるべきか

（4）インターネット活用業務の財源と受信料制度

- インターネット活用業務の財源の在り方
「インターネット活用業務」に要する費用を賄う財源の在り方として、公共放送の役割・位置付けの変化に伴って、どのようなものが考えられるか
- インターネット時代における受信料制度の在り方
「インターネット活用業務」の位置づけや規制・財源の在り方を踏まえ、新たな公共放送を支える受信料制度の在り方として、どのようなものが考えられるか